

2021年度 自己評価結果公表シート

阿武山たつの子認定こども園

1. 本園の教育・保育理念

ときめき ひらめき 輝いて 生きる力を育もう!

『子どもが自分でやりたいことを見つけ、その“何か”に夢中になって取り組む姿は輝いている。それは即ち“生きている証”。

何かをきっかけに子どもの心が動かされ、ワクワクドキドキ心がときめき、次々にやりたい事がひらめいて、それをまた思いっきり実現して輝く子どもが育つ環境が整っている。

その中で、すぐに大人を頼るのではなく、自らの創造力を働かせ“自分でやってみたい! いろいろな事にチャレンジできる子ども、そんな子どもに育てたい!”』と考えています。

2. 本園の教育・保育方針

*子ども一人ひとりを大切にしながら、健康・安全で安定した生活のできる環境を用意し、自己を十分発揮しながら安心して活動できるようにする。

*日本古来の伝統行事を受け継ぎながら、様々な活動を通して、物事に対する興味や関心を育て、自ら意欲的に関わろうとする自主性を育む。

*自然界や社会に広く親しみ、五感を使って様々な体験をすることにより、豊かな感性と物事を最後までやり通す力を培う。

*地域の子どもから老人まで、あらゆる世代との双方向の交流を展開し、共に育ちあう関係を作り上げる。

3. 2021年度 重点項目・計画

「気づきのタネを子どもが育てる環境づくり」

子どもたちの小さな気づきのタネを保育者は見逃さず、それを子どもたちが主体的に育てていけるような環境づくりをしていく。

4. 施設関係者評価委員による評価とそのまとめ・・・まとめシートに記載

5. 今後取り組むべき課題

・豊かな環境の下で子どもたちが過ごせるように、出来るだけの設備や材料を整えるようにしてきたが、今後は「物を大切にしよう」とする気持ちや「勿体ない」という気持ちを持つような環境づくりにも重点をおいていきたい。

2021年度 認定こども園教育・保育要録に基づく 施設関係者評価
 <自己評価> 及び <公開保育>

【まとめシート】

所属 [学校名、機関名、法人・園名等]		園長名		作成日
社会福祉法人 照治福祉会 阿武山たつの子認定こども園		大谷 たえ子		令和 4 年3月31日
評価の記録				
		評価者A	評価者B	評価者C
自己評価の説明を受けて	良い点		・問題点をリストアップして対応しているとの説明に感心しました。引き続き充実して頂くことを期待しています。	・先生方の自己評価が全体的に高いというのは、各担当のクラスに対して自信を持って取り組んでいるという事だと思うのですばらしいと思います。
	改善点			確かにすごく恵まれた施設、備品、おもちゃなども充実しているので、ある意味それに慣れすぎて、あるのが当たり前となって、あまり物を大切にしない事例があるのかなと感じました。(うちの子も家で全然片付けないし、大切にしないので!)たまには、なにもない状況を作って、そのありがたさを味わつのも大事なのかなと思いました。(たとえば災害などの非常事態でもたくましく、工夫する強さ、感謝の心を育てるような)
	期待する点 更に		・まだまだコロナも終息が見られません。十分な対応をよろしく願います。	
保育の様子を見て	良い点	・0歳で本の読み聞かせをしている ・3歳～5歳での味噌作りの見学、対面での話を聞く ・食事中誰も席を離れる子もいない ・保育の日課を知るに細部に気遣われ、個性を伸ばす教育が随所に見られた	・クラス編成が3,4,5歳児混合とお聞きして、その効果にも感心しました。同年での編成とと思っていました ・食事のアレルギー対応も大変感心しました。	子どもたちが自主的に毎日のルーティーンを取り組めるよう、さまざまな工夫がなされているのがとてもよくわかりました。乳児クラスでも落ち着いて食事しているのが本当にびっくりです。ばんだホームの集いではカレンダーを見せながら先の予定をイメージさせているのが、子どもでもしっかり覚えていたりするのですごく効果的だなと思いました。
	改善点	・食事後風邪をさせている点などなど家庭ではできないことながら一方家庭ではどんなだろうとふと思う ・教育者として園児に向かい合っていることが場面場面にて垣間見られ、皆さんの指導の大変さを知る		先生がお話している時の、お返事とか挨拶がちょっとゆるい?ような気がしました。一部しか見ていないのできちんとしている時はしていると思いますけれども、もっとハキハキ気持ちよくこんにちは!ありがとう!とか言うのが当たり前になると、さらに良いかなとも思いました。うちの子も家で返事しないとよく父親に怒られたりしますもので。
	期待する点 更に	・まだまだ勉強させられました。改善点は特に見当りませんでした。幼児から英語を取り入れている園をテレビで観た記憶がありますが、このあたりは今後どうなんだろうかと園児たちと一所懸命の先生たちの姿に感じる事が出来ました。		
その他	アレルギーの問題にも気を遣われ日々大変さを知ることが出来ました。ありがとうございました。	園長先生に確認しましたが、本日朝のニュースでおむつの持ち帰り問題を取り上げていました。レンタルで処理されていることお聞きし安心しました。	基本的には、本当に先生方の子どもたちに対する愛をとて感じます。子どもたちが安心して過ごしているのか伝わってきます。	

評価の記録

		評価者D	評価者E	評価者F
自己評価の説明を受けて	良い点	100項目について自己チェックをされたというところに驚きました。まずは自分たちで振り返るところが大切だと思います。その中で行われた話し合いを大切にいただければと思います。	全体的に自己評価が高い評価となり、おり良いことだと思います。	ほとんどの項目で4以上の評価になっており、職員の方が、熱心に保育していることが分かります。また、子どもたちがねらい通りに育っていることがよくわかります。
	改善点		数値の低いところについては、また対応対策ができればいいですね。	
	期待する点 更に	専門性に関する項目の得点が低かったとお聞きしました。来年度に生かしていただければと思います。	第3章の健康及び安全では、高い評価となり、おり良いと思います。引き続きの取り組みをお願いします。	
保育の様子を見て	良い点	0歳児の保育の仕方、給食の工夫(スプーンにも驚きました)など様々なところで考えながら取り組みをされているのだと感じました。	<ul style="list-style-type: none"> ・移動の時のペアはお互いに意識し声をかけ安全面でも有効です。 ・グループ制(5~6人、異年齢)での活動も自立と共生、学びの上でも有効。 ・保育室のエリアを区切って安全安心。 ・味噌づくり→名前を付けて保育室で保管(これも物を大切にする力につながると思います)また、熟成を待って給食に繋がりの中で学びと育ての意識が育つ。 ・作品も多く作った物で遊び、それを保育室にディスプレイ、うまくつながっている。(個人のシールあり) ・食事グループで行儀よく食べていた。 ・片付けも大切なこととしてとらえ、子どもたちが協力して取り組んでいたのは印象的でした。整理整頓する力、一人で、みんなで出来る力も大切ですね。 ・共同制作のブロック積み木も、共同共生、仲間づくりに有効ですね。 	子どものお世話を担当制にすることによって、子どもにとっては安心感が生まれるし、先生にとっては子どもの変化に気づきやすく、状態も把握しやすいと思います。また、少グループに分けることで、待ち時間が少なくなり、子ども同士がお互いに声をかけたりできてよいと思います。うまく工夫されていると思いました。
	改善点	マスクをしても保育なので子どもたちが“表情から読み取る”というのがとても難しいと思います。何とかうまくいく方法はないかと私自身も考えています。(学校でも先生達には伝えているのですが…)		
	期待する点 更に	つどいの時間で子どもたちの発言をうまく先生がまとめられている所を見学させていただきました。異年齢による保育、その中での調整など難しいと思いますが、続けていただければと思います。		今もされていますが、話し合いの中で、折り合いをつけながら歩んでいける子どもを育てていただければ、小学校でも助かります。
その他	コロナ禍での保育はとても難しいと思います。今年度は“出来ることを出来る範囲で！”を合言葉に進めてきました。同じ地域にある園、小学校ということで一緒に頑張っていければと思います。	コロナ禍での開催ご苦労様です。		
評価を受けて	コロナ禍での開催にも関わらず、ほぼ全員の評価者にご参加いただけたことは何よりでした。公開保育ではたくさんの方の質問を出して頂き、日々の保育の状況を細かく熱心に見ていただき、当園の保育内容について、理解を深めて頂くことができました。コロナ禍での保育や行事はその実施方法を全て1から考えなければならず、保育者にとっては苦労の連続であったと思います。しかし、厳しい状況下であっても前向きな力を発揮し、必死になって意見を出し合い迅速に実行できたことは大きな自信となり、今後の保育や行事運営にも大いに活かしていけると思います。施設関係者のみなさまの支援を受けながら、今後も保育を止めることなく、学びを深めて参ります。			